

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	縁キッズ都筑		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 23日		20256年 2月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	2026年 1月 23日		20256年 2月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	充実した活動内容	4つの基本活動、5領域に配慮した活動を提供している。幅広い年齢層に対応し、グルーピングなどで個々に合わせた活動内容になるよう工夫している。プリント学習では高齢の児童を対象に就労支援も行なっている。	活動内容が難しくすぎない、簡単になりすぎないよう、活動後に振り返りを行い次の活動に反映できるようにしている。今後は保護者の意向等も取り入れてより良い活動を提供していきたい。
2	職員間の情報共有	1日3回のミーティング、毎月のミーティング、会議・研修などできる限り情報共有等の時間を設け、より良い支援につながるようになっている	さらに良い支援ができるように職員間のコミュニケーションを充実させていく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や外部との交流ができていない	夏祭り等の行事を開放することも検討したが広さの懸念があり	夏祭りに向けて早めに始動し、開放できるかどうかの検討も含めて検討していきたい
2			
3			

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	緑キッズ都筑		公表日		2026/2/27	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	2		机の配置等児童が遊べるスペースを確保したい。動きが大きな児童にとっては狭く感じる
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	5		少ない。人員が足りない
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	2		床が硬い。十分とは言えないが少しずつ改善されている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	1	活動に応じてどの職員も工夫して環境設定している。良好な環境を保っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	気持ちが落ち着かない時のクールダウンや体調不良時の個別で使用できる部屋がある。当日の活動に合わせた配置などで工夫している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	2	日々話し合っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	2	ミーティングを行い業務改善に活かしている	十分とは言えない
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	1		子育て中の職員も参加しやすいシステムにしてほしい。不十分
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	0	見学や体験時に保護者様からの聞き取りとお子様とのかかわりの中からアセスメントを行い計画を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	1		足りてないと感じる
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	アセスメントシートを共有してお子様の成長に合わせた最適な学習を提供するように心がけている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	2	ケア記録を毎日行っている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	職員で話し合いながら作成している。特に長期休暇時の活動は職員同士意見を出し合い楽しめる活動を提供できるよう工夫している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	スタッフで意見を出し合い、児童の意見も聞き、プログラムが固定化しないよう工夫している。毎月定番の活動を通して年間で成長していけるような工夫をしている。児童の意見	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	各領域の内容も照らし合わせて活動を決めて支援している。プリント学習の時間にはここに合わせた学習内容を取り入れるほか、中学生以上の児童には就労支援の作業も取り入	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	ミーティングを行い、活動内容や役割分担、児童情報を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0	終礼にてその日の支援の振り返りやヒヤリハットの共有を行なっている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	定期的に見直し、共通認識を持って支援に取り組んでいる	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	13	0	最近はボランティアさんの交流が減っているものの他はバランスよく配置できている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13	0	活動そのものの希望を児童に意見を求める機会を作るほか、活動の中でも取捨選択できる工夫を行なっている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	2		足りていない。療育センター等は情報を出してくれないところもある
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	0	主に送迎の際になるが、情報交換を密に行えるよう努力している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	0		他事業所へ移行する際は最終評価として細かな情報提供書を作成している
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	2		以前は出席していたが今はしていない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	5		現状できていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	面談時、送迎時に活動中の状況や課題について保護者の方とお話しスタッフ間でも共有している。LINEを活用して保護者の負担が少なく連絡を取りやすいようにしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	4		
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	契約時に丁寧に説明するよう心がけている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0	面談時に保護者に確認して作成している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	1	丁寧に相談に応じるように心がけている。関わりの中で気になった点なども保護者に共有するようにしている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	3	夏祭りや保護者が参加できる活動の日を作り、保護者同士の交流の場も作れるようにしている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	いただいたご意見に対しては真摯に迅速に対応できるよう心がけている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	毎月「緑キッズつづき裡り」を作成し毎月位配布している。ブログを作成し児童の様子がわかりやすいよう発信している。LINEで保護者に写真や動画を送り、利用時の様子をご覧いただけるようにしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	パソコンや携帯電話のパスワードの使用、不要な個人情報の持ち出しをしない、等取り扱いは十分に注意をしている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	写真、絵カード、文字、指文字、身振り手振り、など言語以外のコミュニケーションも取りつつ、最適な意思疎通の方法を考えて対応を行なっている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	2		現状行えていない。夏祭りを地域に公開することも検討したが、施設の広さが不十分
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0	契約時や面談時に保護者に確認をしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	必要に応じて行なっている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	1		安全計画はあるが安全管理は人員不足で不十分であると感じる
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	集計して検討している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	定期的に行なっている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	0	契約時、面談時に説明を行い同意を得ている		